

令和6年度供給・献血実績等について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

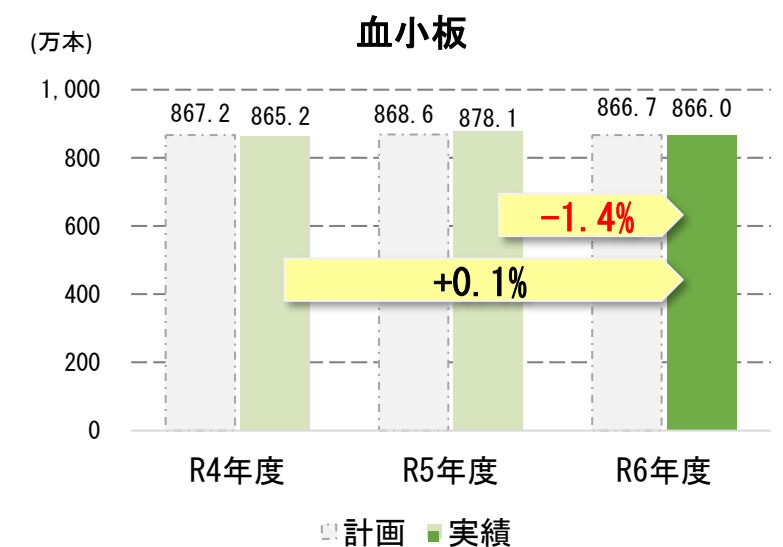
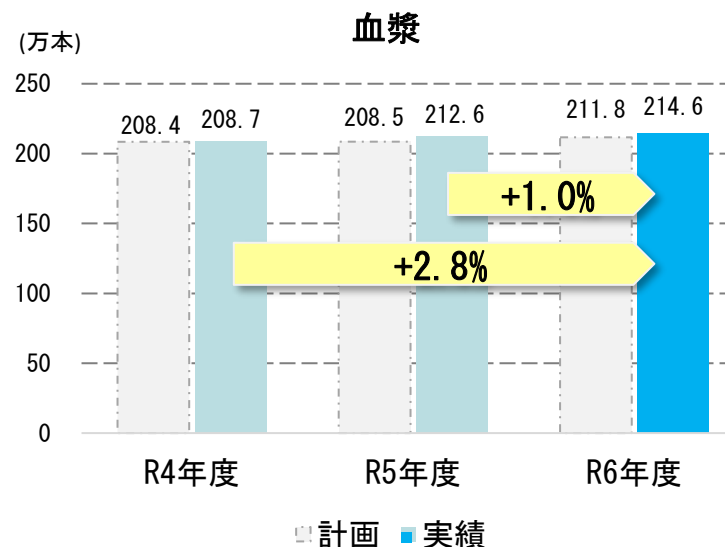
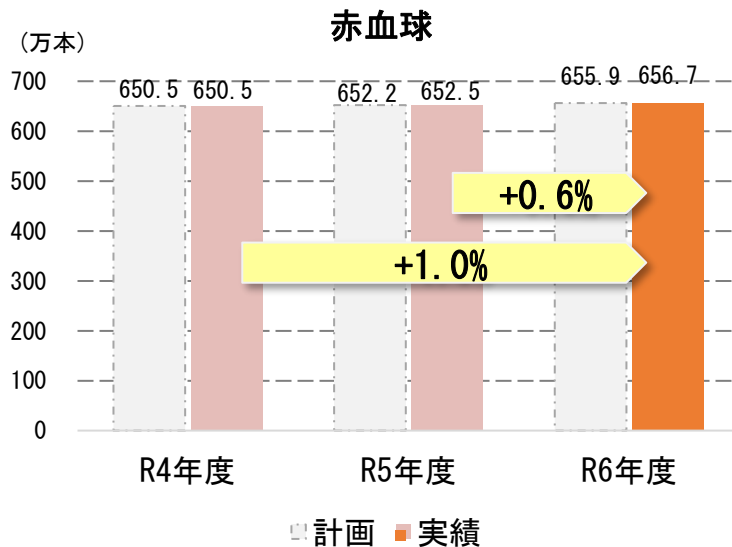
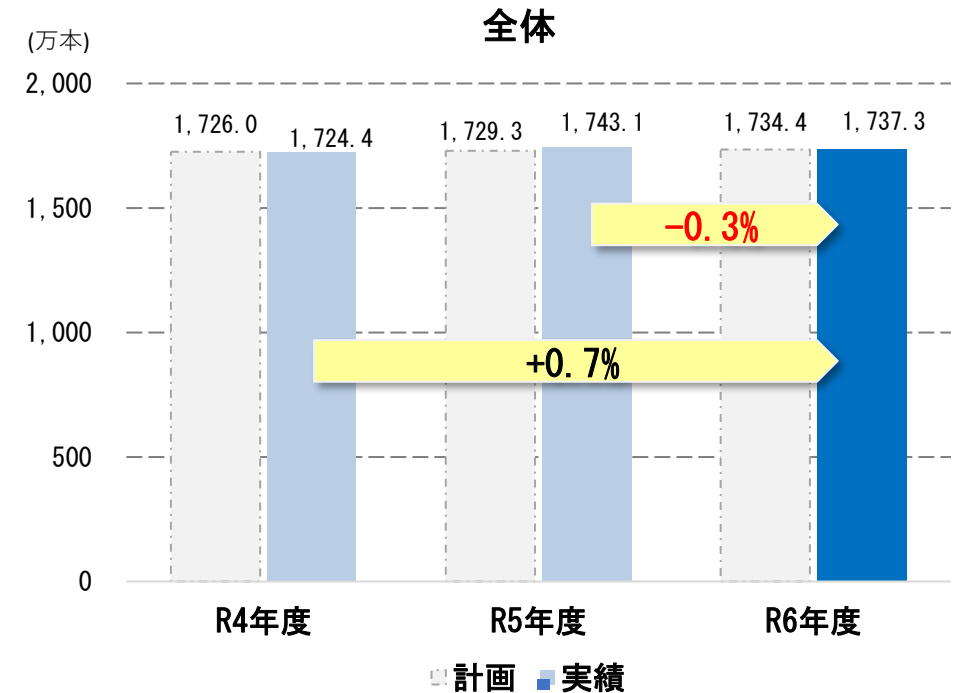
令和7年7月11日（金）
薬事審議会血液事業部会献血推進調査会

- 1 供給実績
- 2 献血実績
- 3 各種施策について
- 4 まとめ

1 供給実績

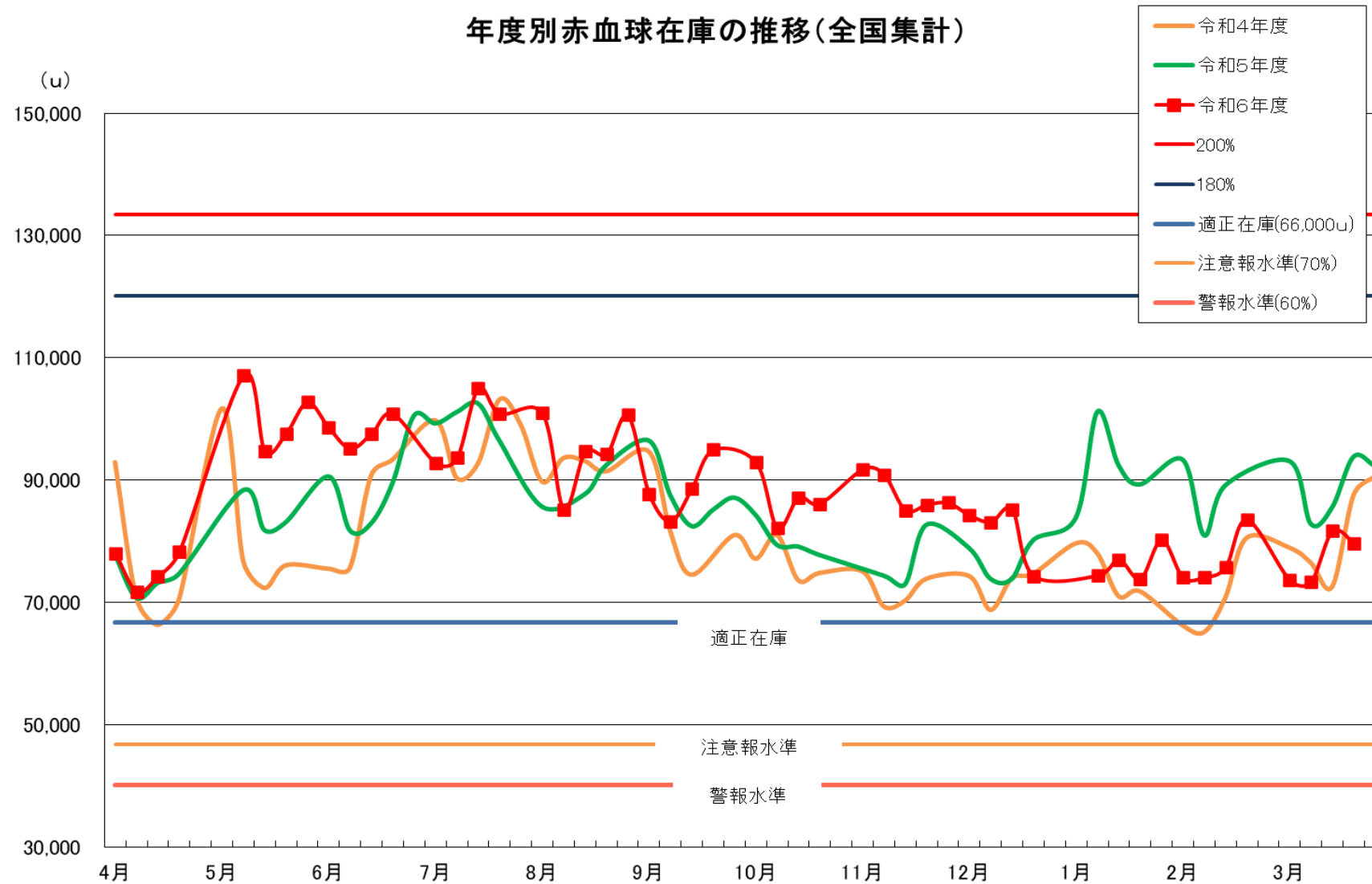
- 全体は令和5年度実績に対し、**0.3%減**の約1,737万本
- 赤血球は0.6%増の約656.7万本
- 血漿は1.0%増の約214.6万本
- 血小板は**1.4%減**の約866.0万本

※製剤本数は200mL献血由来を1本とした換算数



赤血球製剤の在庫推移

年間を通じて安定供給が確実に行えている

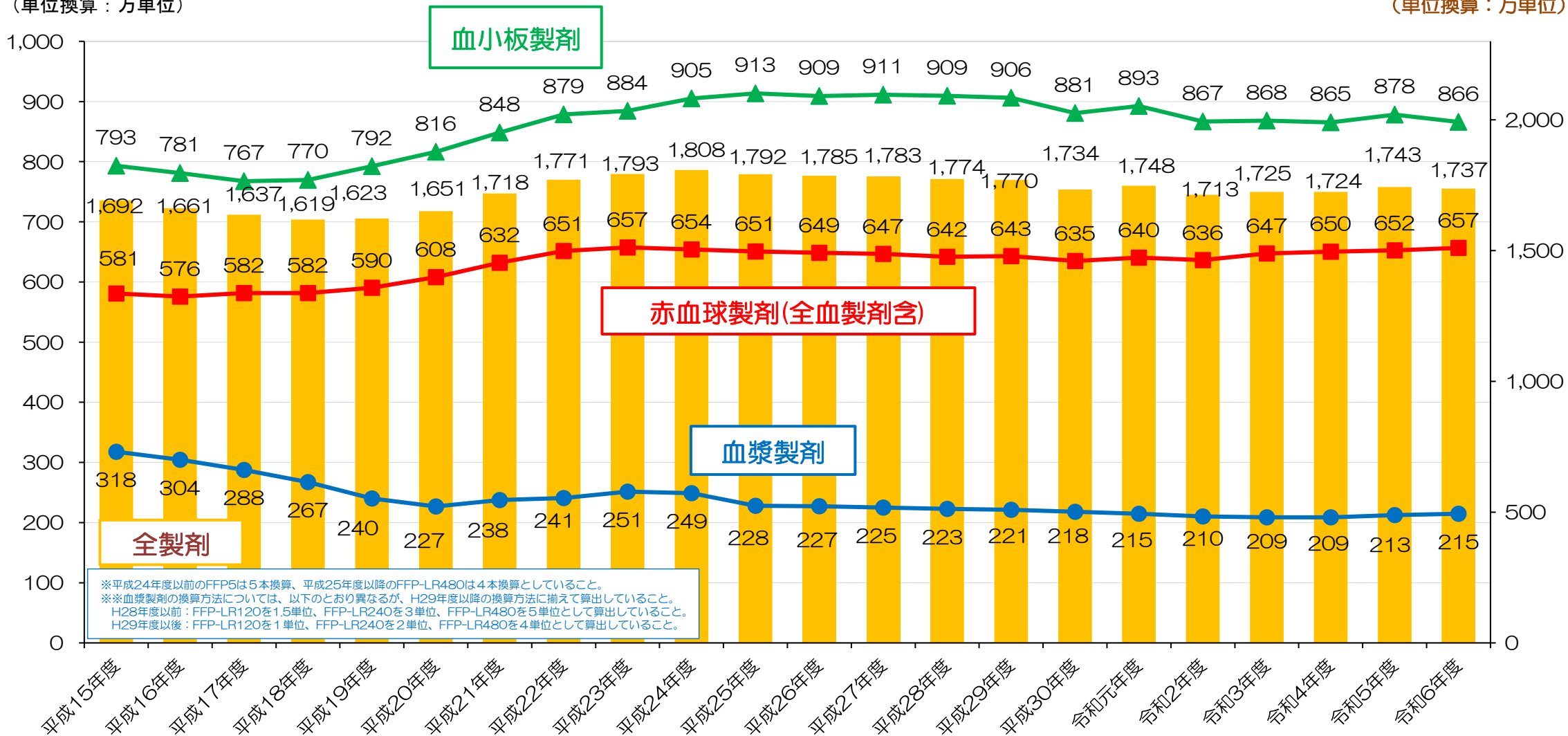


輸血用血液製剤供給本数推移

輸血用血液製剤需要は、横ばい傾向

各製剤小計
(単位換算：万単位)

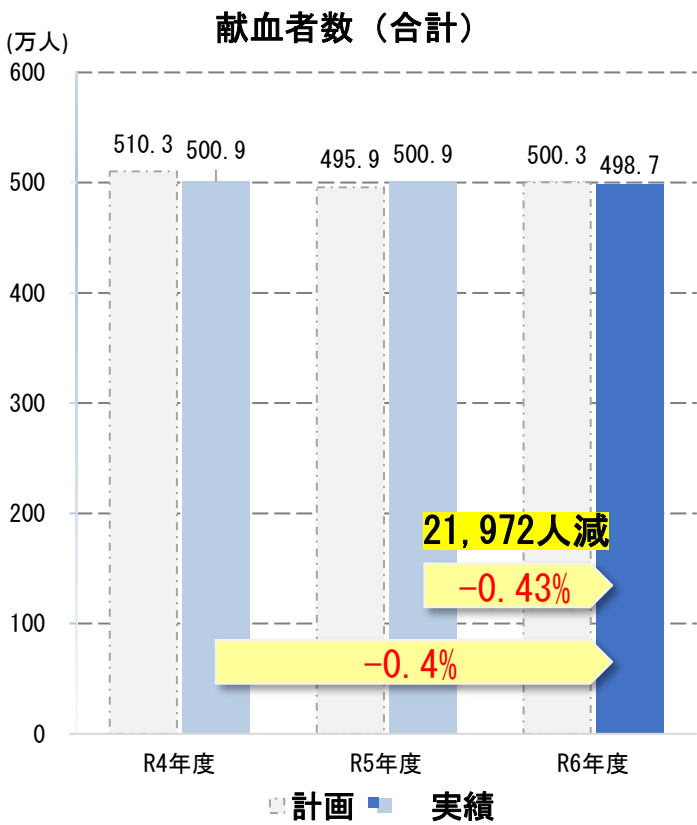
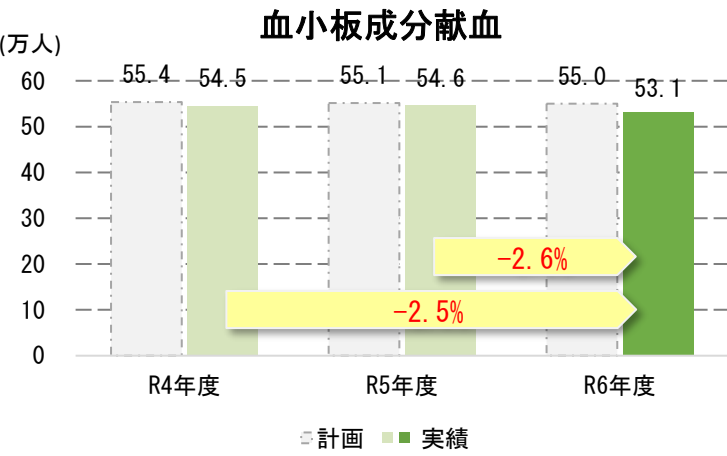
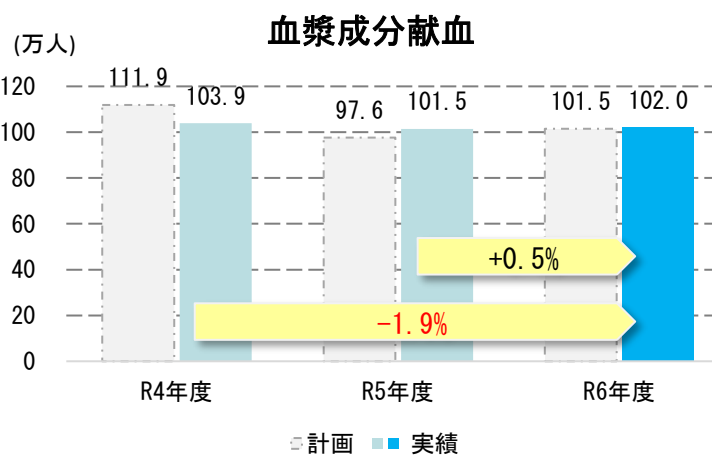
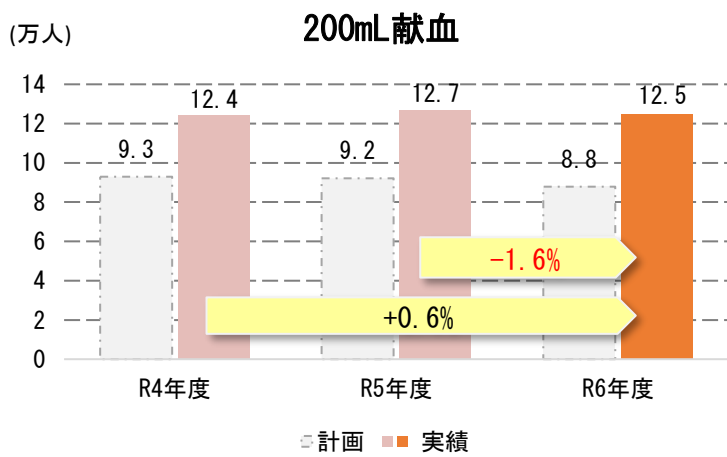
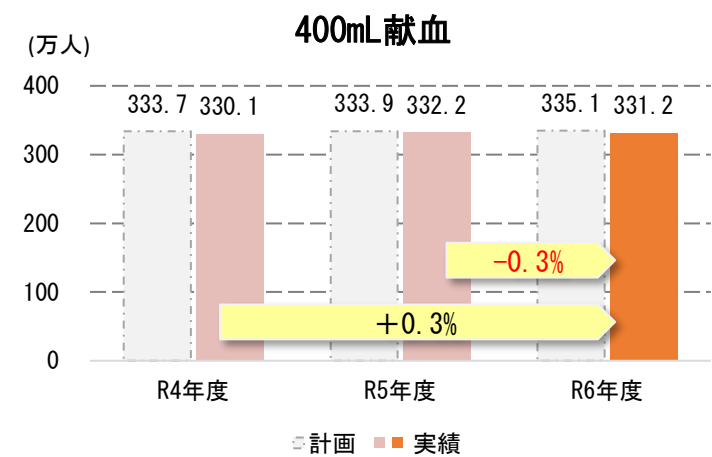
全製剤総計
(単位換算：万単位)



2 献血実績

総献血者数は、

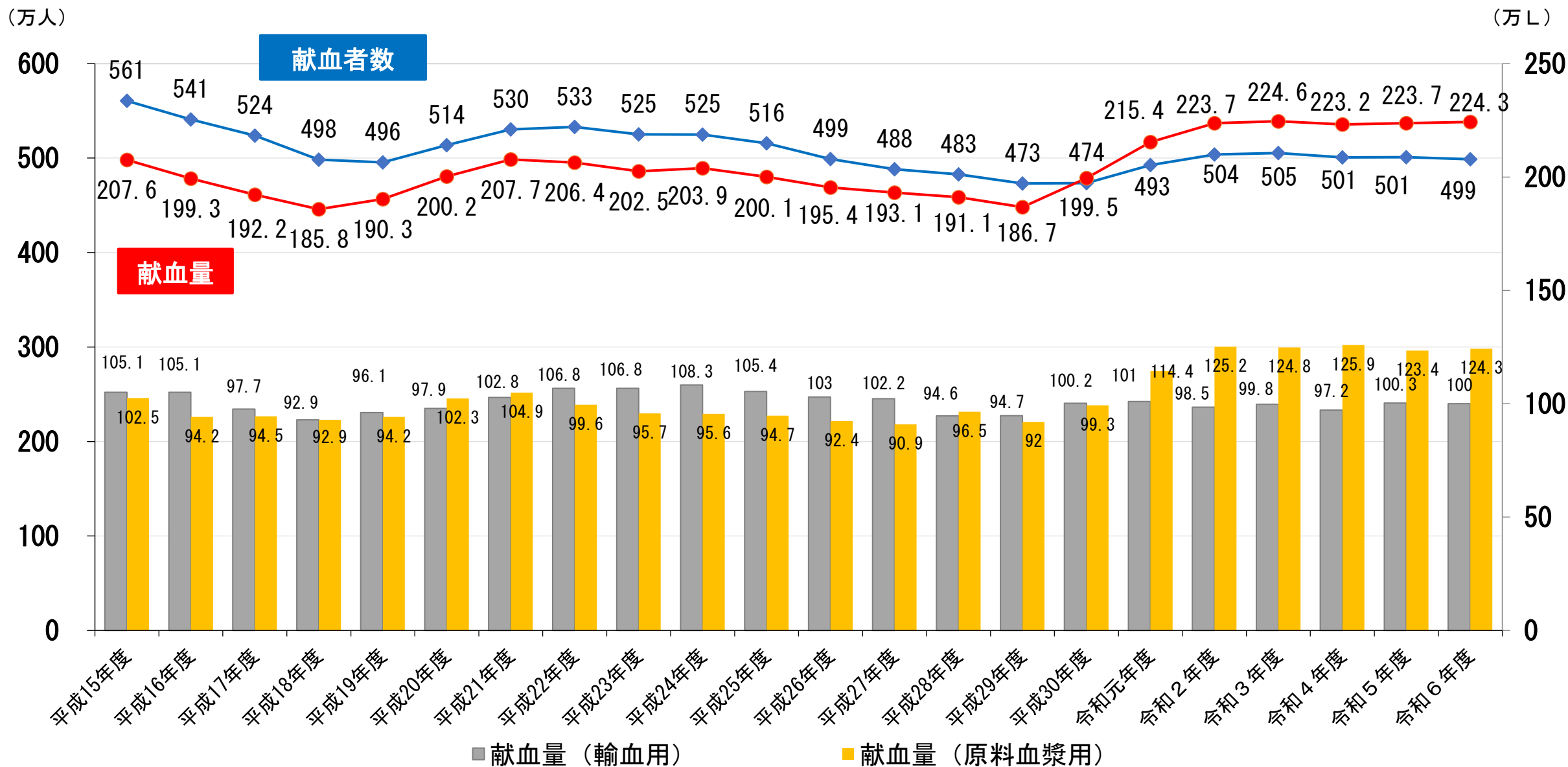
令和5年度比で21,972人減（0.43%減）の約498万7千人



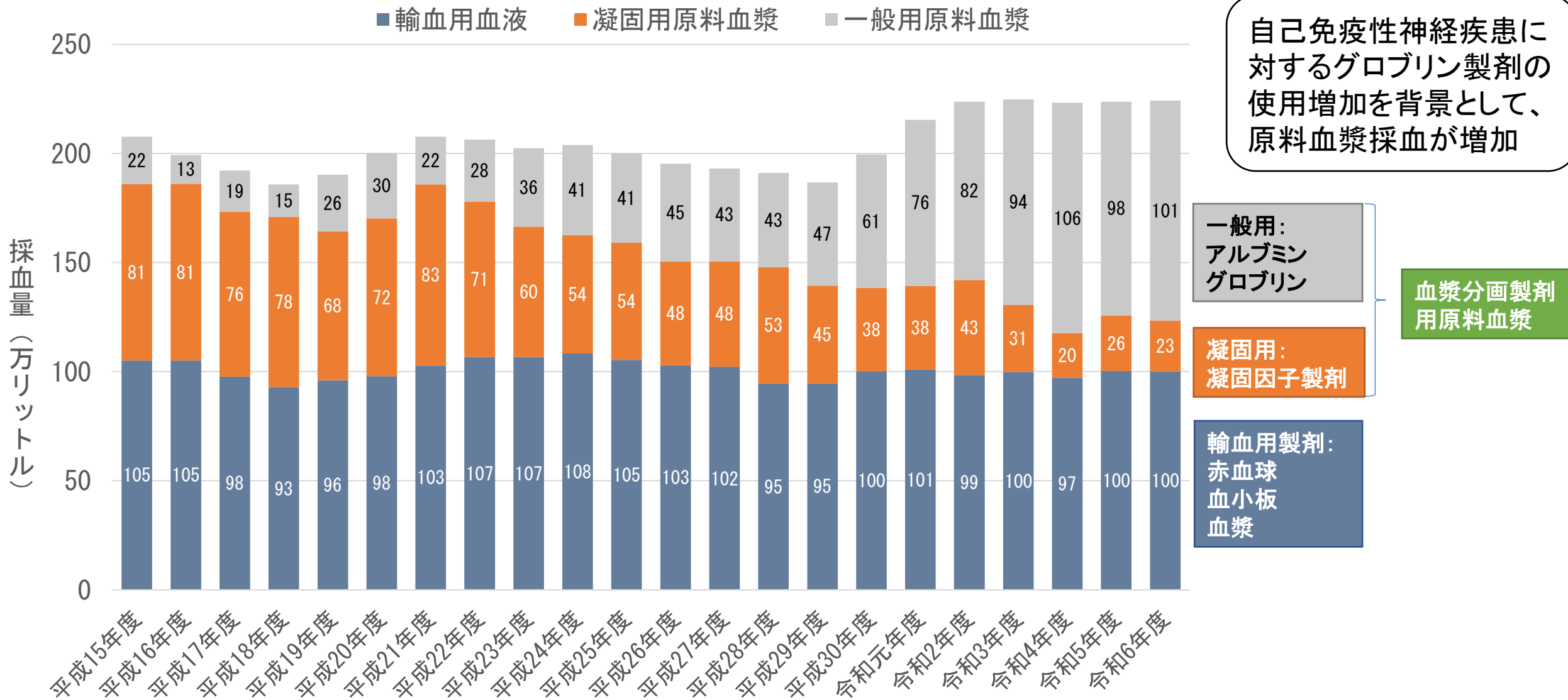
献血推進計画における確保目標量に対する実績

種別	目標量	採血量（実績）
全血採血	135万リットル	135万リットル
血漿成分採血	56万リットル	59万リットル
血小板成分採血	31万リットル	31万リットル

献血者数と献血量

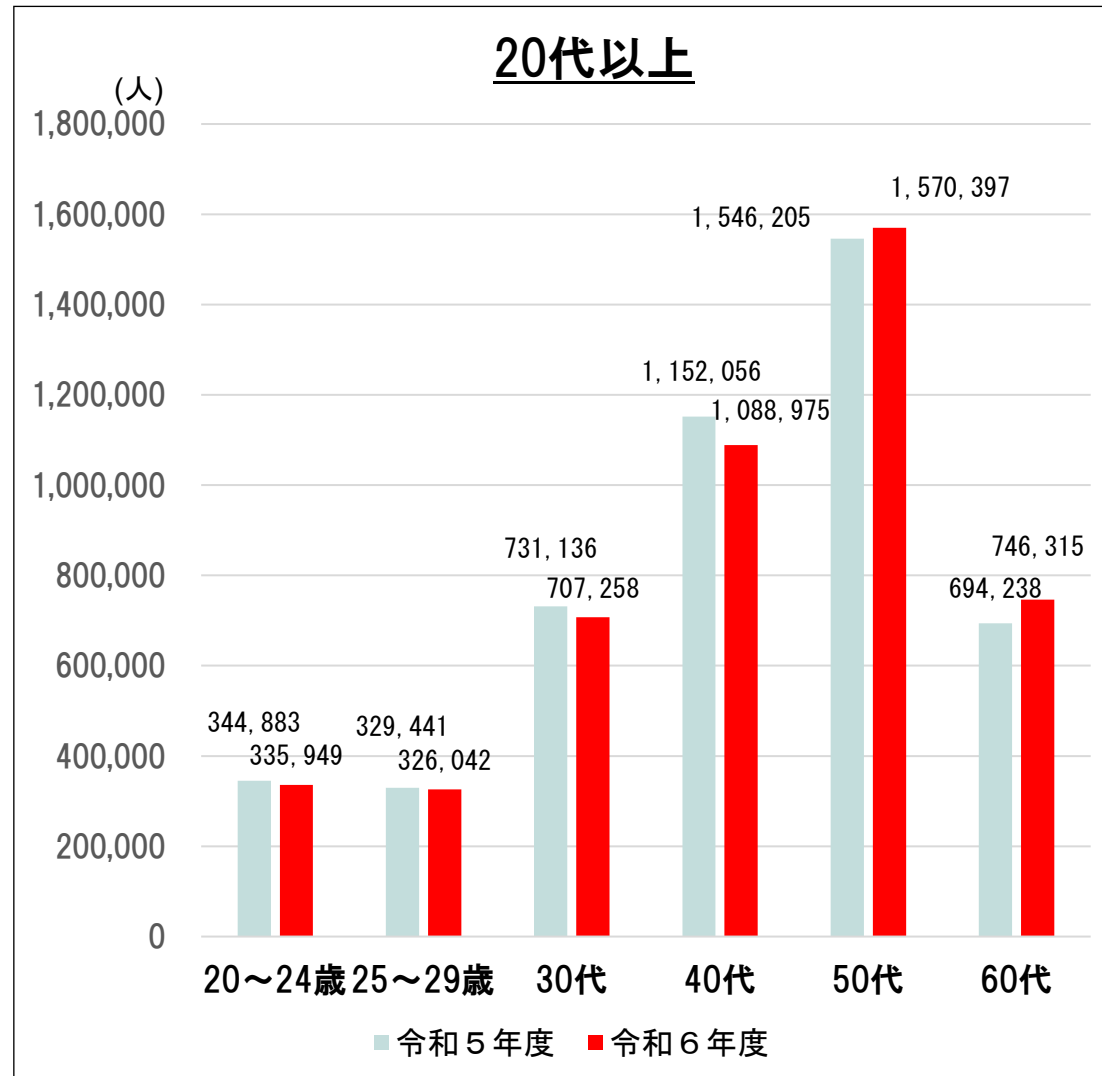
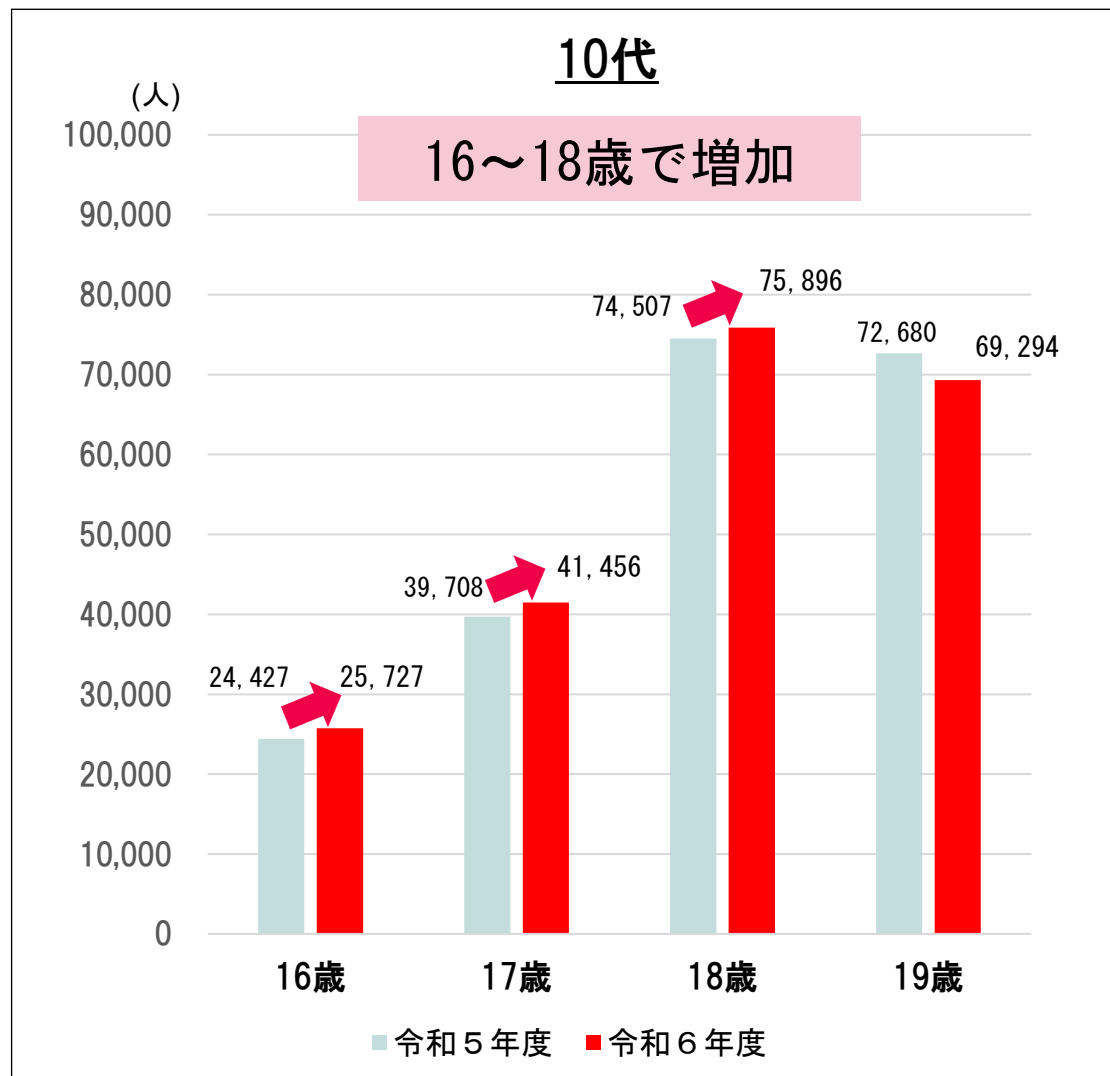


輸血用血液と原料血漿の採血量

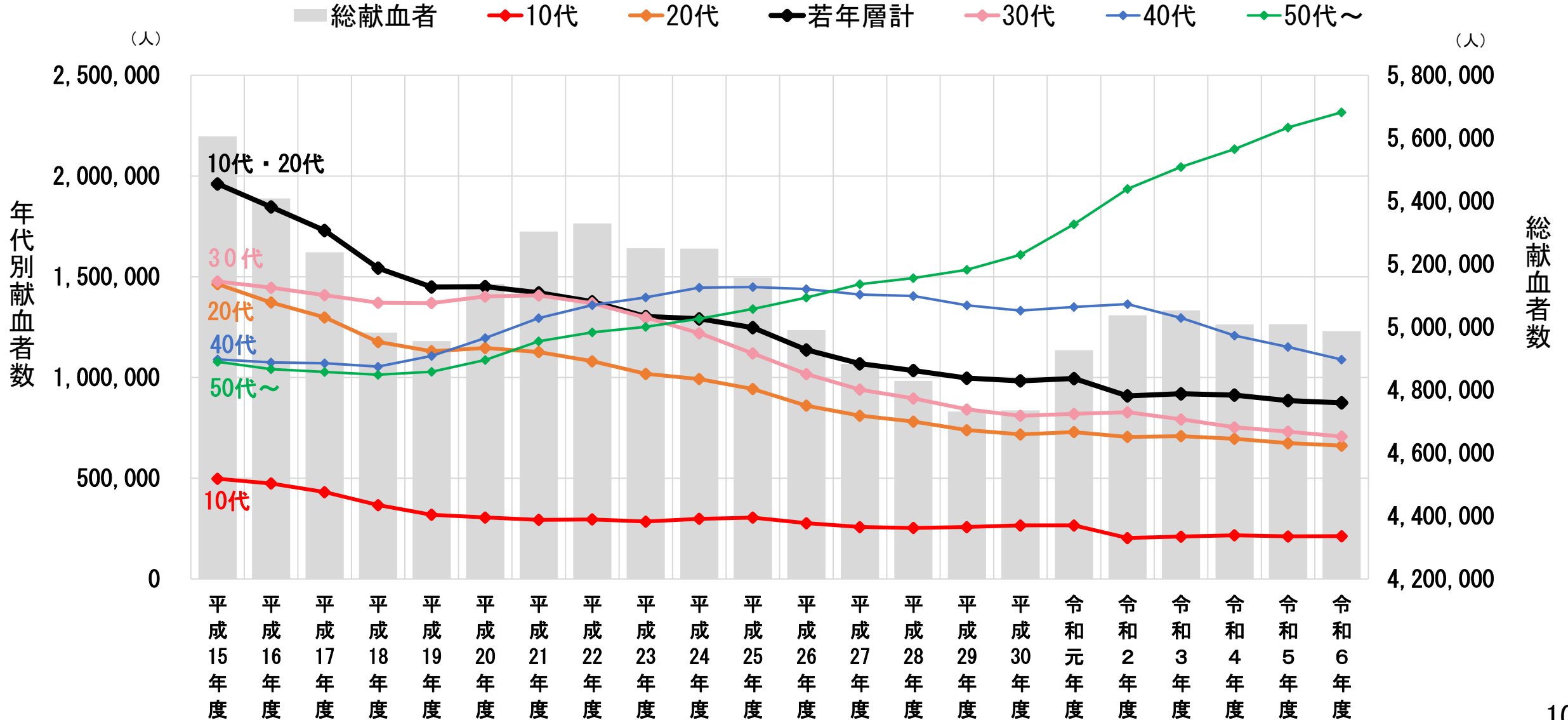


年代別献血状況（対前年度）

10代の献血者は、令和5年度比で1,051人増（+0.5%）であった。

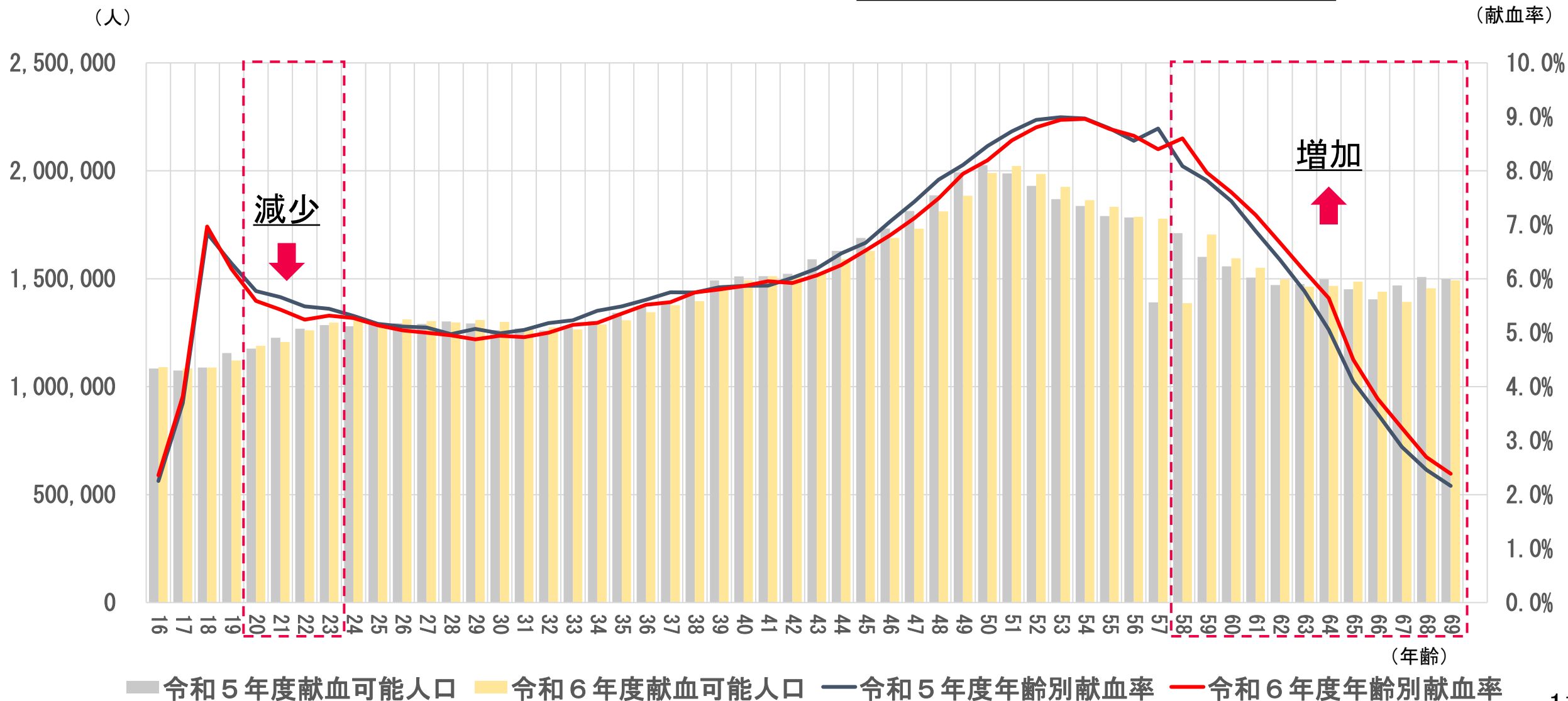


延べ献血者数（年代別・総数）



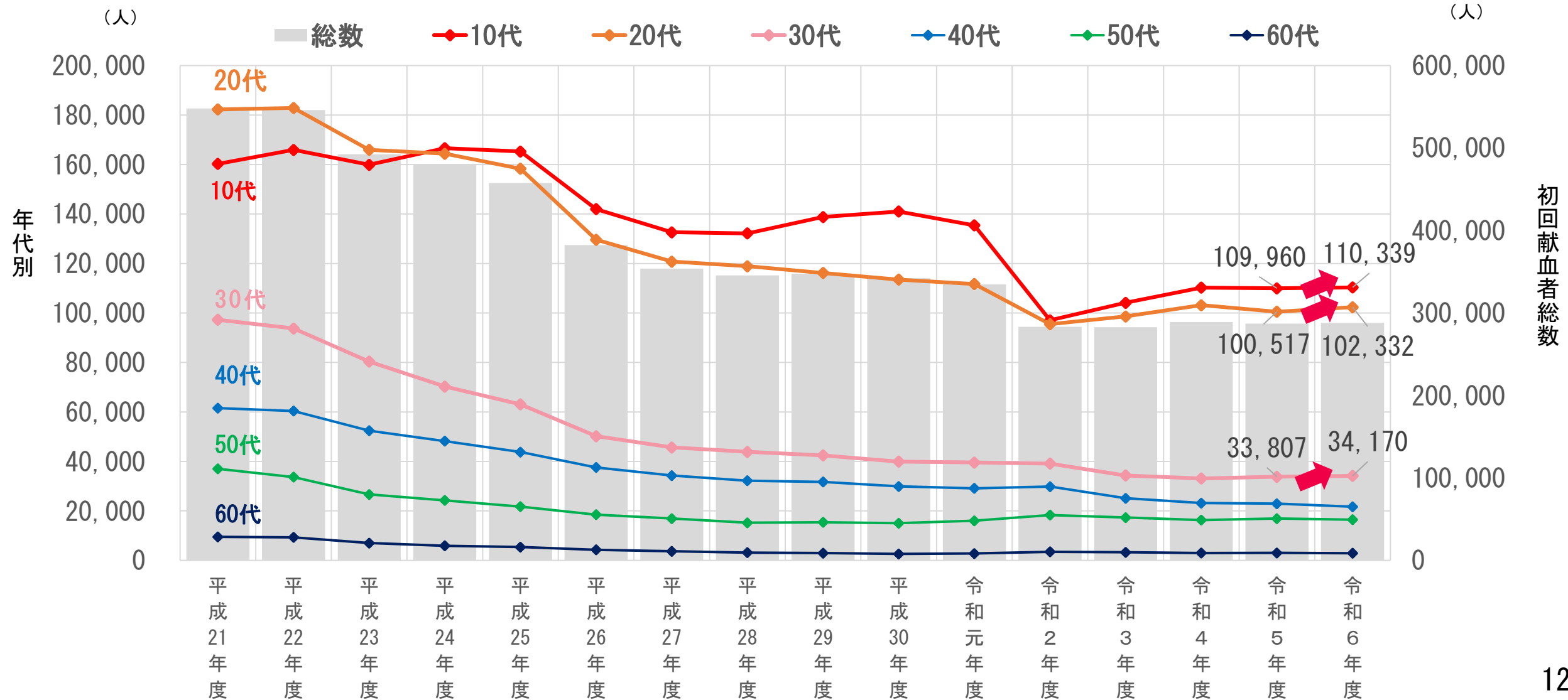
年齢別献血可能人口と献血率

年齢別献血率は、20代前半で減少、50代後半から増加している。



初回献血者（年代別、総数）

令和5年度比で、10代 379人増（+0.3%）、
20代 1,815人増（+1.8%）、30代 363人増（+1.1%）であった。

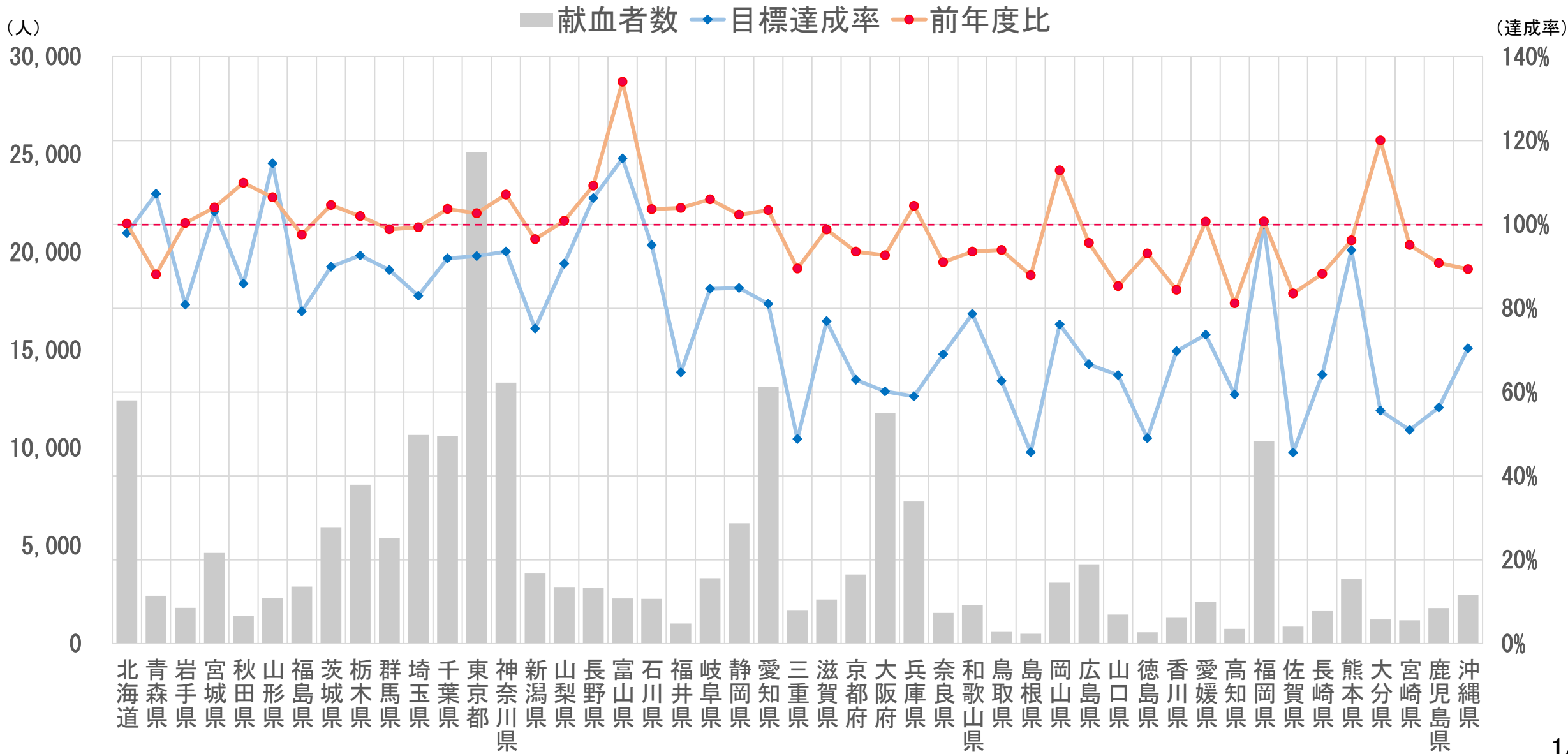


都道府県別10代献血者数

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R5年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	12,700	12,437	12,411	97.9%	100.2%
北海道ブロック	12,700	12,437	12,411	97.9%	100.2%
青森県	2,281	2,447	2,778	107.3%	88.1%
岩手県	2,271	1,836	1,830	80.8%	100.3%
宮城県	4,505	4,643	4,462	103.1%	104.1%
秋田県	1,636	1,405	1,278	85.9%	109.9%
山形県	2,044	2,341	2,199	114.5%	106.5%
福島県	3,681	2,917	2,990	79.2%	97.6%
東北ブロック	16,418	15,589	15,537	95.0%	100.3%
茨城県	6,620	5,952	5,690	89.9%	104.6%
栃木県	8,775	8,124	7,964	92.6%	102.0%
群馬県	6,060	5,401	5,465	89.1%	98.8%
埼玉県	12,851	10,666	10,742	83.0%	99.3%
千葉県	11,543	10,610	10,232	91.9%	103.7%
東京都	27,165	25,108	24,450	92.4%	102.7%
神奈川県	14,265	13,340	12,457	93.5%	107.1%
新潟県	4,769	3,584	3,714	75.2%	96.5%
山梨県	3,198	2,898	2,873	90.6%	100.9%
長野県	2,696	2,865	2,622	106.3%	109.3%
関東甲信越ブロック	97,942	88,548	86,209	90.4%	102.7%
富山県	2,001	2,316	1,728	115.7%	134.0%
石川県	2,405	2,287	2,207	95.1%	103.6%
福井県	1,587	1,027	988	64.7%	103.9%
岐阜県	3,953	3,347	3,158	84.7%	106.0%
静岡県	7,254	6,154	6,015	84.8%	102.3%
愛知県	16,198	13,129	12,700	81.1%	103.4%
三重県	3,463	1,690	1,889	48.8%	89.5%
東海北陸ブロック	36,861	29,950	28,685	81.3%	104.4%

年代	10代				
	16歳～19歳				
滋賀県	2,938	2,259	2,287	76.9%	98.8%
京都府	5,607	3,528	3,772	62.9%	93.5%
大阪府	19,599	11,788	12,727	60.1%	92.6%
兵庫県	12,315	7,263	6,956	59.0%	104.4%
奈良県	2,276	1,571	1,727	69.0%	91.0%
和歌山県	2,486	1,956	2,092	78.7%	93.5%
近畿ブロック	45,221	28,365	29,561	62.7%	96.0%
鳥取県	1,009	632	673	62.6%	93.9%
島根県	1,111	507	577	45.6%	87.9%
岡山県	4,093	3,117	2,761	76.2%	112.9%
広島県	6,078	4,049	4,234	66.6%	95.6%
山口県	2,321	1,487	1,744	64.1%	85.3%
徳島県	1,177	577	620	49.0%	93.1%
香川県	1,894	1,321	1,565	69.7%	84.4%
愛媛県	2,879	2,122	2,108	73.7%	100.7%
高知県	1,280	761	937	59.5%	81.2%
中四国ブロック	21,842	14,573	15,219	66.7%	95.8%
福岡県	10,367	10,365	10,293	100.0%	100.7%
佐賀県	1,903	867	1,038	45.6%	83.5%
長崎県	2,592	1,663	1,885	64.2%	88.2%
熊本県	3,510	3,294	3,425	93.8%	96.2%
大分県	2,221	1,234	1,028	55.6%	120.0%
宮崎県	2,340	1,192	1,254	50.9%	95.1%
鹿児島県	3,235	1,822	2,007	56.3%	90.8%
沖縄県	3,512	2,474	2,770	70.4%	89.3%
九州ブロック	29,680	22,911	23,700	77.2%	96.7%
合計	260,664	212,373	211,322	81.5%	100.5%
差異 (R6-R5)	+1,051				

都道府県別10代献血者数

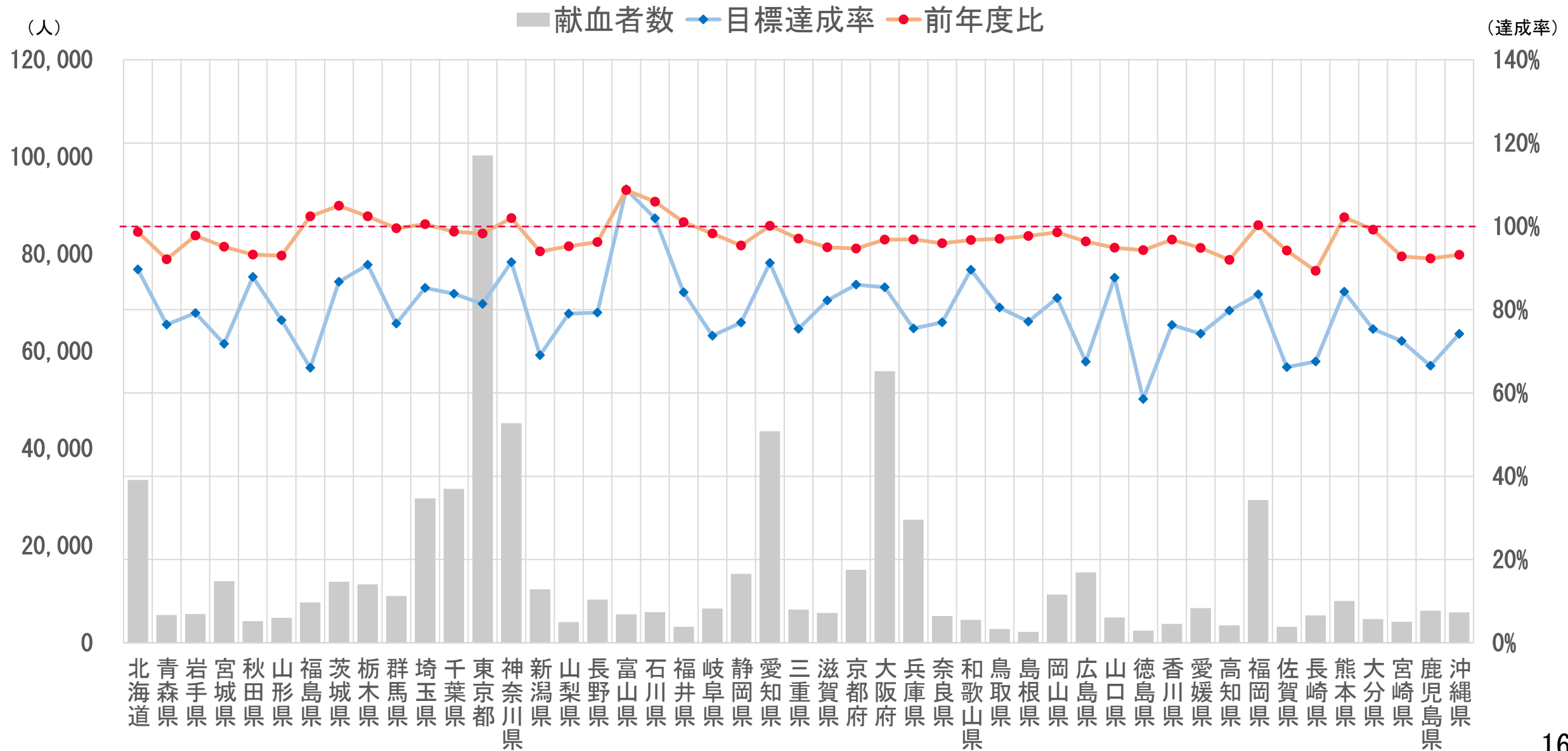


都道府県別20代献血者数

年代	20代				
	20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R5年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	37,400	33,530	33,990	89.7%	98.6%
北海道ブロック	37,400	33,530	33,990	89.7%	98.6%
青森県	7,499	5,730	6,222	76.4%	92.1%
岩手県	7,497	5,937	6,070	79.2%	97.8%
宮城県	17,680	12,694	13,350	71.8%	95.1%
秋田県	5,110	4,488	4,816	87.8%	93.2%
山形県	6,614	5,125	5,514	77.5%	92.9%
福島県	12,582	8,310	8,115	66.0%	102.4%
東北ブロック	56,982	42,284	44,087	74.2%	95.9%
茨城県	14,515	12,581	11,991	86.7%	104.9%
栃木県	13,265	12,038	11,756	90.8%	102.4%
群馬県	12,600	9,659	9,702	76.7%	99.6%
埼玉県	34,899	29,735	29,584	85.2%	100.5%
千葉県	37,786	31,669	32,075	83.8%	98.7%
東京都	123,220	100,289	102,070	81.4%	98.3%
神奈川県	49,480	45,225	44,343	91.4%	102.0%
新潟県	15,980	11,037	11,744	69.1%	94.0%
山梨県	5,386	4,257	4,471	79.0%	95.2%
長野県	11,230	8,906	9,254	79.3%	96.2%
関東甲信越ブロック	318,361	265,396	266,990	83.4%	99.4%
富山県	5,379	5,857	5,388	108.9%	108.7%
石川県	6,186	6,305	5,952	101.9%	105.9%
福井県	3,914	3,293	3,260	84.1%	101.0%
岐阜県	9,601	7,080	7,203	73.7%	98.3%
静岡県	18,478	14,205	14,891	76.9%	95.4%
愛知県	47,718	43,533	43,487	91.2%	100.1%
三重県	9,080	6,847	7,055	75.4%	97.1%
東海北陸ブロック	100,356	87,120	87,236	86.8%	99.9%

年代	20代				
	20～29歳				
滋賀県	7,452	6,125	6,450	82.2%	95.0%
京都府	17,500	15,050	15,898	86.0%	94.7%
大阪府	65,500	55,914	57,770	85.4%	96.8%
兵庫県	33,587	25,356	26,177	75.5%	96.9%
奈良県	7,180	5,524	5,759	76.9%	95.9%
和歌山県	5,259	4,710	4,871	89.6%	96.7%
近畿ブロック	136,478	112,679	116,925	82.6%	96.4%
鳥取県	3,550	2,858	2,946	80.5%	97.0%
島根県	2,931	2,261	2,315	77.1%	97.7%
岡山県	12,032	9,961	10,106	82.8%	98.6%
広島県	21,440	14,470	15,013	67.5%	96.4%
山口県	5,956	5,220	5,502	87.6%	94.9%
徳島県	4,267	2,497	2,648	58.5%	94.3%
香川県	5,121	3,908	4,036	76.3%	96.8%
愛媛県	9,615	7,134	7,526	74.2%	94.8%
高知県	4,522	3,608	3,925	79.8%	91.9%
中四国ブロック	69,434	51,917	54,017	74.8%	96.1%
福岡県	35,128	29,387	29,309	83.7%	100.3%
佐賀県	5,017	3,320	3,526	66.2%	94.2%
長崎県	8,376	5,657	6,335	67.5%	89.3%
熊本県	10,200	8,599	8,418	84.3%	102.2%
大分県	6,489	4,888	4,927	75.3%	99.2%
宮崎県	6,010	4,354	4,693	72.4%	92.8%
鹿児島県	9,900	6,587	7,137	66.5%	92.3%
沖縄県	8,460	6,273	6,734	74.1%	93.2%
九州ブロック	89,580	69,065	71,079	77.1%	97.2%
合計	808,591	661,991	674,324	81.9%	98.2%
差異 (R6-R5)	-12,333				

都道府県別20代献血者数

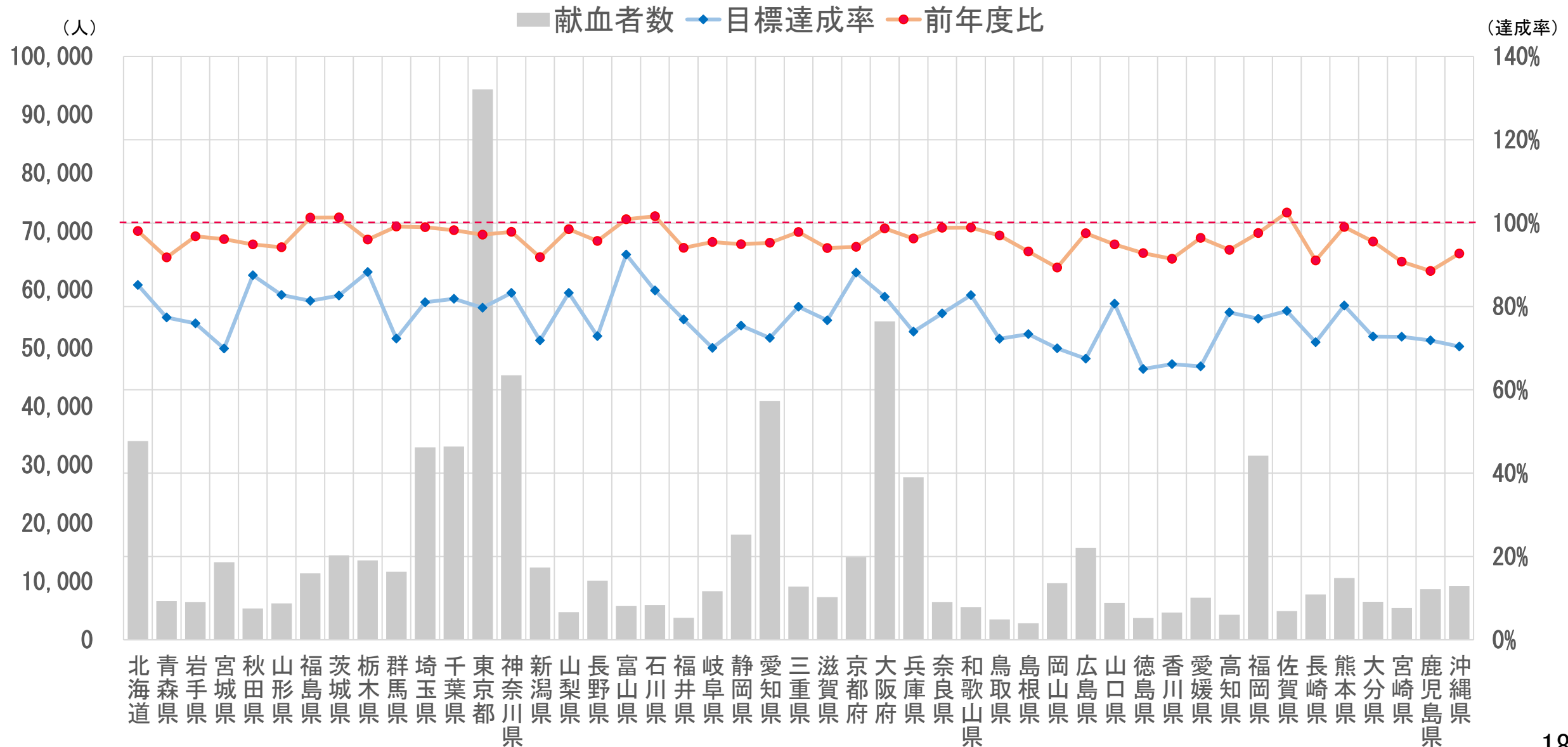


都道府県別30代献血者数

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R5年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	40,000	34,056	34,712	85.1%	98.1%
北海道ブロック	40,000	34,056	34,712	85.1%	98.1%
青森県	8,587	6,641	7,239	77.3%	91.7%
岩手県	8,544	6,489	6,701	75.9%	96.8%
宮城県	19,048	13,316	13,852	69.9%	96.1%
秋田県	6,157	5,386	5,678	87.5%	94.9%
山形県	7,551	6,247	6,632	82.7%	94.2%
福島県	14,002	11,390	11,243	81.3%	101.3%
東北ブロック	63,889	49,469	51,345	77.4%	96.3%
茨城県	17,550	14,498	14,305	82.6%	101.3%
栃木県	15,440	13,630	14,193	88.3%	96.0%
群馬県	16,170	11,686	11,784	72.3%	99.2%
埼玉県	40,730	32,990	33,320	81.0%	99.0%
千葉県	40,480	33,132	33,707	81.8%	98.3%
東京都	118,380	94,356	97,080	79.7%	97.2%
神奈川県	54,450	45,335	46,300	83.3%	97.9%
新潟県	17,270	12,408	13,513	71.8%	91.8%
山梨県	5,710	4,752	4,824	83.2%	98.5%
長野県	13,900	10,126	10,578	72.8%	95.7%
関東甲信越ブロック	340,080	272,913	279,604	80.2%	97.6%
富山県	6,262	5,789	5,736	92.5%	100.9%
石川県	7,131	5,976	5,878	83.8%	101.7%
福井県	4,917	3,779	4,018	76.9%	94.1%
岐阜県	11,869	8,316	8,710	70.1%	95.5%
静岡県	23,910	18,031	18,990	75.4%	94.9%
愛知県	56,528	40,956	42,991	72.5%	95.3%
三重県	11,420	9,128	9,329	79.9%	97.8%
東海北陸ブロック	122,037	91,975	95,652	75.4%	96.2%

年代	30代				
	30～39歳				
滋賀県	9,560	7,330	7,797	76.7%	94.0%
京都府	16,100	14,182	15,043	88.1%	94.3%
大阪府	66,300	54,583	55,300	82.3%	98.7%
兵庫県	37,715	27,893	28,970	74.0%	96.3%
奈良県	8,260	6,471	6,545	78.3%	98.9%
和歌山県	6,800	5,623	5,684	82.7%	98.9%
近畿ブロック	144,735	116,082	119,339	80.2%	97.3%
鳥取県	4,850	3,503	3,611	72.2%	97.0%
島根県	3,844	2,820	3,026	73.4%	93.2%
岡山県	13,908	9,727	10,887	69.9%	89.3%
広島県	23,377	15,768	16,159	67.5%	97.6%
山口県	7,830	6,317	6,658	80.7%	94.9%
徳島県	5,732	3,726	4,015	65.0%	92.8%
香川県	7,066	4,673	5,111	66.1%	91.4%
愛媛県	11,010	7,222	7,487	65.6%	96.5%
高知県	5,452	4,283	4,578	78.6%	93.6%
中四国ブロック	83,069	58,039	61,532	69.9%	94.3%
福岡県	40,946	31,553	32,321	77.1%	97.6%
佐賀県	6,228	4,915	4,794	78.9%	102.5%
長崎県	10,907	7,787	8,555	71.4%	91.0%
熊本県	13,200	10,587	10,687	80.2%	99.1%
大分県	8,951	6,513	6,815	72.8%	95.6%
宮崎県	7,500	5,455	6,012	72.7%	90.7%
鹿児島県	12,100	8,694	9,823	71.9%	88.5%
沖縄県	13,100	9,220	9,945	70.4%	92.7%
九州ブロック	112,932	84,724	88,952	75.0%	95.2%
合計	906,742	707,258	731,136	78.0%	96.7%
差異 (R6-R5)	-23,878				

都道府県別30代献血者数



3 各種施策について

(1) 広報展開等

ア 令和6年6月から「THINK献血」を展開

- ・ポスターの制作
- ・テレビCMの制作（15秒×2）
- ・ラジオCMの制作（20秒）
- ・公式WEBサイトの設置
- ・ロゴ、サウンドロゴの制作

イ 令和7年1月～2月「はたちの献血」キャンペーンの実施

- ・ポスターの制作
- ・テレビCMの制作（15秒）
- ・WEB CMの制作（30秒）
- ・ラジオCMの制作（20秒）
- ・公式WEBサイトの設置



赤十字は、動いてる!  日本赤十字社

はたちの献血

（参考） 広告認知率、態度変容

全国の16～69歳

調査対象

スクリーニングパネル数
本調査パネル数

第1回：14,552サンプル
第2回：18,500サンプル
※スクリーニング調査の分析には人口構成比（エリア・性年代）に合わせてウェイトバック集計したデータを使用
1,440サンプル ※以下の割付け表による ※第1回・第2回共通

本調査割付け	① 対象期間 献血実施者	②③対象期間 献血未実施者	
		②有経験者 ※献血プランク1年以上	③未経験者
16歳～24歳	120	120	120
25歳～34歳	120	120	120
35歳～49歳	120	120	120
50歳～69歳	120	120	120
計	480	480	480

※対象期間・・・第1回は「2024年6月以降」 第2回は「2025年1月以降」で設定

広告認知率

CM動画・広告展開のいずれかを「見たことがある」+「見たような気がする」

献血実施者の対象期間	2024年9月調査		2025年3月調査			
	THINK献血		THINK献血	はたちの献血		
	24年6～8月		24年11月～25年3月	25年1～3月		
SC調査全体（16～69歳）		28.2 %		25.4 %		18.1 %
対象期間献血実施者		55.2 %		56.3 %		42.7 %

態度変容

広告展開をみたことで「協力したい気持ちが高まった」+「どちらかという協力したい気持ちが高まった」

献血実施者の対象期間	2024年9月調査	2025年3月調査	
	THINK献血	THINK献血	はたちの献血
	24年6～8月	24年11月～25年3月	25年1～3月
SC調査全体（16～69歳）	55.8 %	51.0 %	50.4 %
対象期間献血実施者	81.0 %	69.5 %	70.2 %



(2) 記念日施策

ア 6月14日「世界献血者デー」

・交通広告

⇒全国38箇所の駅、渋谷駅ジャック

2024年6月10日～6月16日

・映画「ディア・ファミリー」とのタイアップ

⇒映画館でのシネアド上映、チラシ配付、SNSキャンペーン



渋谷駅広告

イ 8月21日「献血の日」

・新幹線車内広告

⇒東海道新幹線(東京～博多)普通車全車両

1日あたりの運行本数356本

・うちわサンプリング

⇒献血の日の漫画を掲載

8月16、17、19、21、23日

甲子園駅周辺 10,000部/日



新幹線車内広告 21

(3) 大勢川崎病支援プロジェクト

ア 概要

読売巨人軍の大勢投手は、幼少期に川崎病を患っていた経験から、川崎病に対する社会貢献活動を行いたいという思いを入団当初から持っており、日本赤十字社・読売巨人軍・日本川崎病研究センターと共にこのプロジェクトを立ち上げた。

イ 目的

- ・川崎病の認知度向上
- ・免疫グロブリン製剤についての認知度向上
(川崎病の治療には血漿分画製剤である
免疫グロブリン製剤が使われるため)
- ・主に若年層を対象とした献血啓発の推進



▲大勢投手と同じく
川崎病を患っていた小学生との対談動画を作成
(参考：[あなたの贈り物は、私たちの未来でした。](#)) 22

(4) 献血セミナー等で活用できる動画の作成

各血液センターで実施している献血セミナー等で活用できる動画を作成。

献血経験者へのインタビュー



Q.はじめての献血のきっかけは？

大学に献血バスが来ていて



Q.献血を続ける理由は？

輸血している患者さんを間近に見て
自分にもできることがないかなと思って

Q.みんなにとって献血とは？



シンプルに
人助けかな



気軽に
人の役に
立てる



はじめての献血密着



(参考: [THINK献血～私たちが献血する理由～](#))

「献血してくれる人がある」というポジティブな情報を用い協力のハードルを下げる

(5) 小学4年生に向けた献血教育冊子の配付

「みんなで学ぼう 血液のこと」

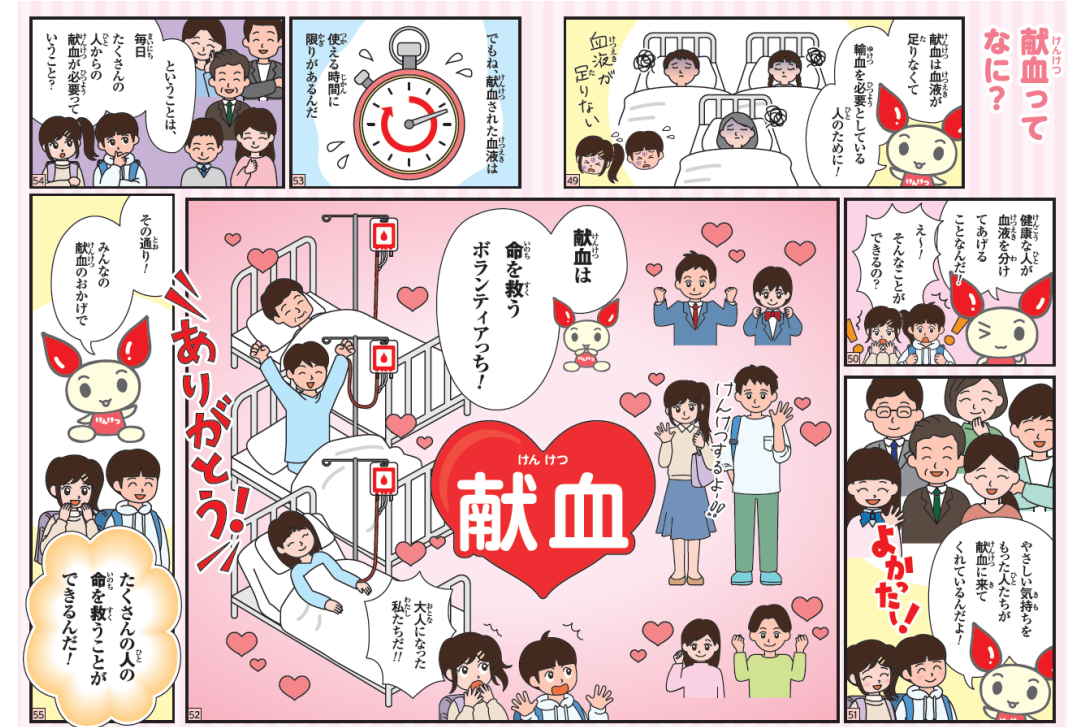
昨年度に引き続き全国の小学校へ発送

配付小学校数 18,317校

配付数 1,149,951冊

令和7年度も配付予定

献血教育冊子



(参考: [みんなで学ぼう 血液のこと](#) 【日本赤十字社】)

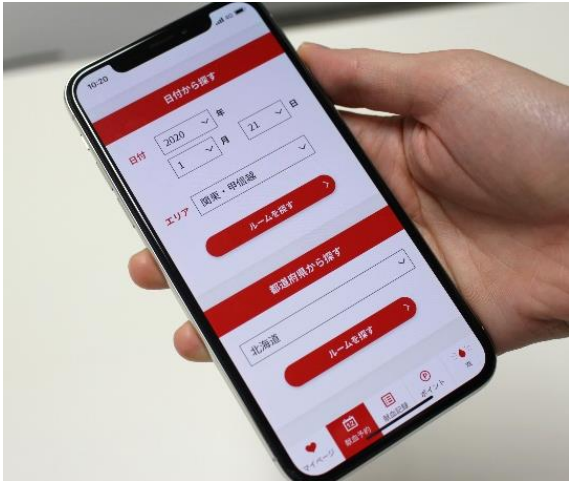
夏休みの宿題等で活用いただくことや、

自宅に持ち帰って保護者の方と話題にしていただけるよう7月前半に配付した

(6) 献血Web会員サービス「ラブラッド」

ア 予約の推進

- ・「ラブラッド」の登録会員の獲得のほか、献血協力の予約を推進
⇒必要血液量を計画的かつ安定的に確保
- ・「ラブラッド」で抽出した循環血液量の多い方を中心に、献血協力を依頼
⇒必要血液量を少ない献血者数で効率的に確保



【「ラブラッド」の活用状況】

	ラブラッド会員数	予約率 (血小板成分献血)	予約率 (血漿成分献血)	予約率 (全血献血)
ラブラッド導入時 (平成30年10月)	約155万人	28.9%	21.4%	1.5%
令和5年度	約376万人	90.9%	88.2%	43.3%
令和6年度	約425万人	92.1%	89.6%	43.6%
増減 (R6-R5)	約49万人増	1.2ポイント増	1.4ポイント増	0.3ポイント増

ラブラッド会員数は増加し、予約率も向上

イ 献血カード利用からラブラッド利用への移行 (ア) ラブラッド会員ではない方への対応

令和8年1月4日より献血カードの更新・新規発行を終了することとなった。

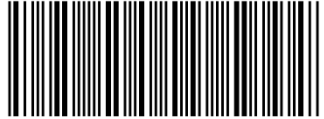
これに伴い、ラブラッド非会員でも献血者コード及び次回献血可能日等を照会することのできるページを作成し案内するための「お知らせカード」を配付している。

また、現在の運用と同様に「カナ氏名」及び「生年月日」を申告いただくことで、献血協力が可能となる。



▼ 照会ページ

献血者コード ●●



血液型 A+

次回献血可能日

200mL	いますぐ
400mL	いますぐ
血漿	いますぐ
血小板	いますぐ

← → + 1 ...

▼ お知らせカード

ラブラッド登録がお済みでない方

献血者コード 次回献血可能日 は、
必要事項の入力後に確認いただけます→

照会画面から
ラブラッドへのご登録も
いただけます！
ラブラッド登録はこちら▶️CLICK!

※データの反映には一定時間がかかります。情報が表示されない画面が表示された場合は、時間を置いてからお試してください。

こちらのカードでは献血受付は出来ません

日本赤十字社

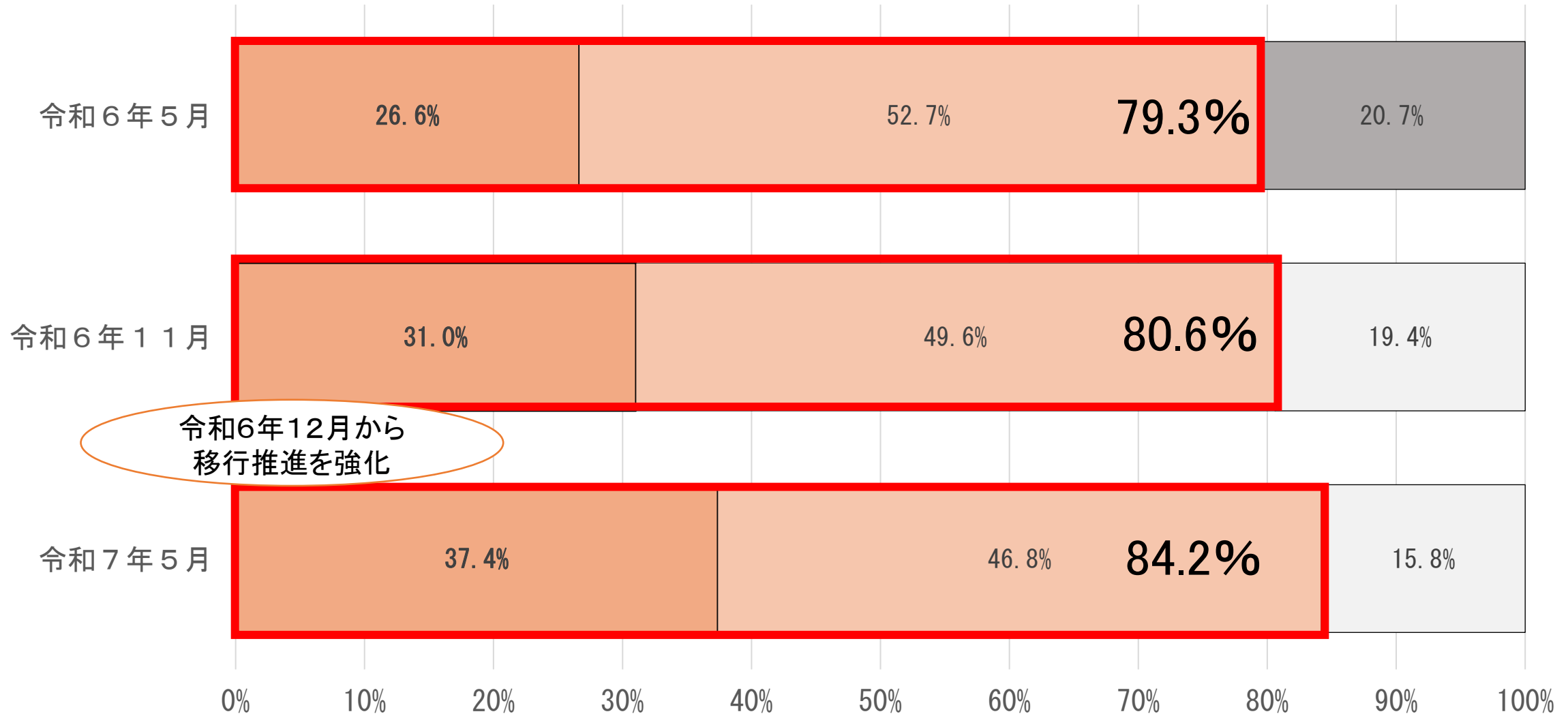
**ラブラッドに登録すると
／ メリットがたくさん！ ／**

- 予約・受付がスムーズ
- 問診回答が来場前にできる
- Web・アプリで血液検査結果が確認できる
- 記念品と交換できるポイントが貯まる

※献血Web会員サービス「ラブラッド」は、日本赤十字社と献血者をつなぐWeb会員サービスです。

献血者に占めるラブラッド会員（アプリ・Web）の割合

■ ラブラッド会員に占めるアプリ利用者の割合 ■ ラブラッド会員に占めるWeb利用者の割合 ■ ラブラッド非会員の割合



ラブラッド会員による献血状況（令和6年度）

献血者 4,987,309人

ラブラッド会員 4,153,236人（83.3%）

非会員 834,073人（16.7%）

献血推進・予約システム機能の活用

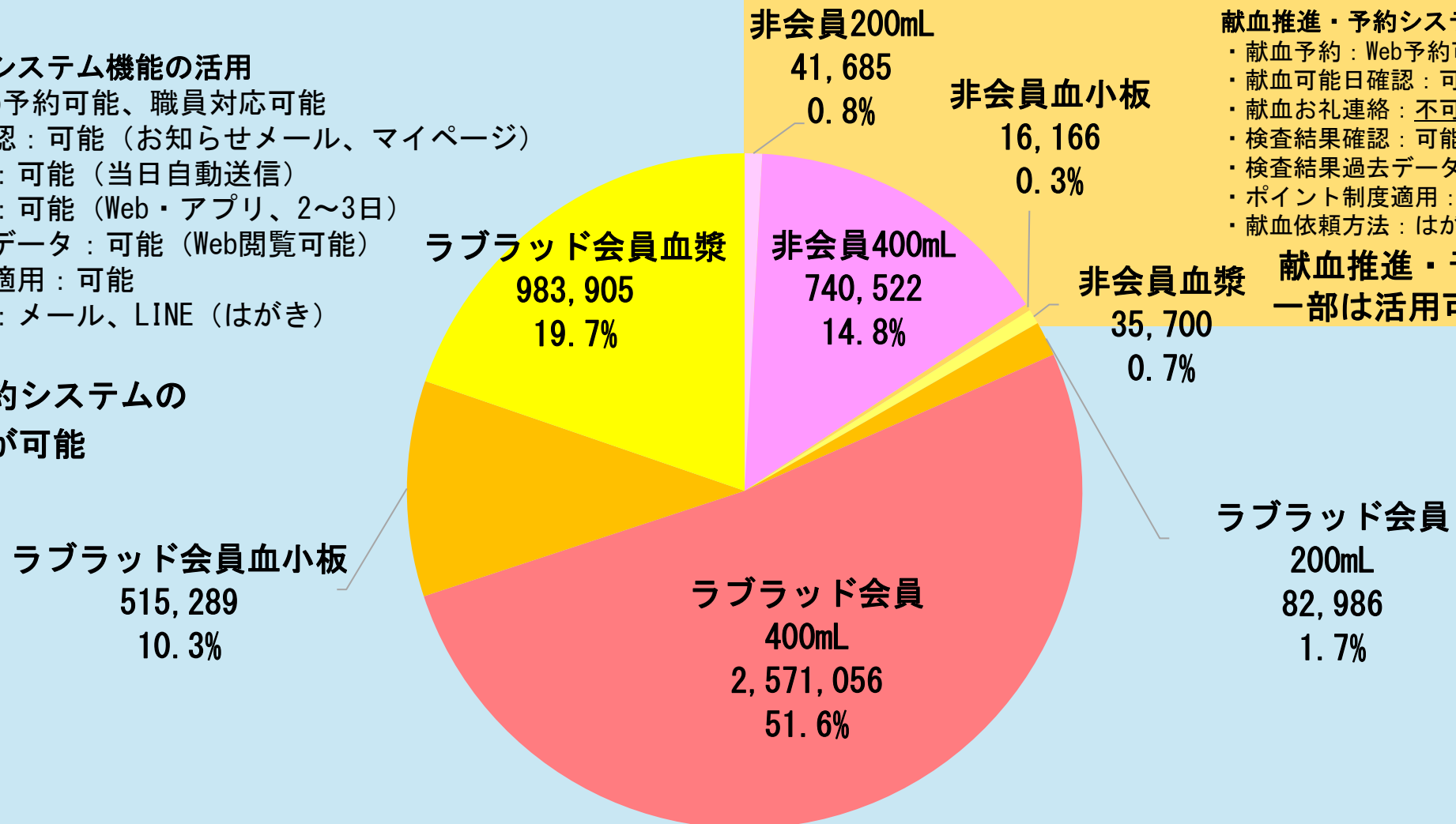
- ・献血予約：Web予約可能、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（お知らせメール、マイページ）
- ・献血お礼連絡：可能（当日自動送信）
- ・検査結果確認：可能（Web・アプリ、2～3日）
- ・検査結果過去データ：可能（Web閲覧可能）
- ・ポイント制度適用：可能
- ・献血依頼方法：メール、LINE（はがき）

献血推進・予約システムの積極的な活用が可能

献血推進・予約システム機能の活用

- ・献血予約：Web予約可能、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（献血カード、Web）
- ・献血お礼連絡：不可
- ・検査結果確認：可能（はがき、5～10日）
- ・検査結果過去データ：可能（はがき直近5回）
- ・ポイント制度適用：不可
- ・献血依頼方法：はがき、ポスター、呼びかけ

献血推進・予約システムの一部は活用可能



4 まとめ

- 令和6年度においては、輸血用血液製剤及び原料血漿を滞りなく安定供給した。
- 将来の献血基盤となる若年層については、小学生から大学生への教育・啓発（献血セミナー等）を、厚生労働省をはじめ、国・行政との連携を密にして積極的な展開を図る。
- 献血Web会員サービス「ラブラッド」では、献血予約を推進することで献血会場の混雑回避及び献血者の待ち時間を解消する等、安全性並びに利便性を高め、献血にご協力いただける機会の増加を図る。